



小田小だより

平成26年10月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 Tel 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校



挨拶の本質を考える

～ もうすぐ迎える前期の終業に思いを寄せて ～

学校長 木村 昭雄

本年度から小田小学校では生活目標を月別ではなく、学期別にしました。そして、前期の生活目標は「挨拶をしよう」です。保護者の皆様と地域の皆様の学校評価アンケートに、「挨拶上手な小田っ子になってほしい」との願いが多く有ったことを受け、4月から取り組んできました。学校では元気に挨拶を交わす声が聞かれるようになってきました。ご家庭や地域ではいかがでしょうか？

「挨拶のできるいい子です」「あの人は、挨拶もろくにできない」などと、現代社会において特に、「挨拶」は何かと話題になり、その人となりを表すのにさえ使われています。なぜ、「挨拶」はそれほど大切に思われているのでしょうか？

以前、私がアメリカに出かける機会があったときのことで。ホテルのエレベーターに乗り合わせた見知らぬアメリカ人から「Hi!」とか「Good morning!」とか笑顔で挨拶されたことがあります。それも出会うとすぐに笑顔で挨拶を投げかけられるのです。私はただただ戸惑うばかりで、笑顔返すのが精一杯だったのを覚えています。

ところが後日、ある人がテレビの対談番組の中で次のような話をしていました。

『挨拶』の起源は、『武装解除』です。『私は武器を持っていません』『あなたに敵意はありません』という気持ちを態度で表しているのです。ですから、手のひらを相手に向け、お互いに握り合う『握手』はそういう意味があります。『お辞儀』は、両方の手のひらを体側に付け、体の最も大切なところとされている『頭』を相手に差し出し、『あなたのことを信頼しています』という意味をもっているのです。』

でも、挨拶が大切なのはそれだけの理由からなのでしょうか。日本社会も変化してきていますので、そのようなシグナルとしての挨拶が必要となってきているのも事実です。

以前朝会で、挨拶を題材に次のような講話をしたことがありました。



「あいさつ」を漢字で書くと「挨拶」と書きますが、どんな意味があるのでしょうか？

もともとは仏教の禅宗で使用されていた「一挨拶」、つまり「一つ押して、一つ迫る」「心を開いて接する」と言う意味の禅の言葉を当てはめたとされています。この禅語の「挨拶」を漢文の読み下し文にすると、「挨く」「拶く」となります。さて何と読むでしょう？「挨く」は「たたく」と読みます。扉をたたく、ドアをノックするという意味です。「拶く」は「ひらく」と読みます。扉を開く、ドアを開けるという意味です。お友達に「挨拶」をするということは、お友達の心のドアを「トントン」とノックをして、心のドアを「おはよう」「こんにちは」と言って開けることなのです。挨拶は人と人とを結びつける基本のものであり、お互いの心を開くことにもなるのです。

私は挨拶の本質は「！」だと思のです。「！」＝「ワーオ」＝「私はあなたに関心があります。私はあなたのことをもっと知りたいんです」というシグナルだということです。

「おはようございます」「さようなら」「すみません」と挨拶はたくさんありますが、一番の挨拶は「ありがとう」でしょう。例えば「電気をつけてくれてありがとう」と感謝すれば、ちょっとした行動から相手の心に気づき関心を向けていることが相手に伝わります。「ありがとう」のみならず、そうして周囲に関心をもち発信し続けていると、きっと何かが変わります。

新しい人間関係の中で新しい視界が開け、ちょっと大げさですがきっと新しい人生が始まります。人間は社会を作って生きています。人間は「挨拶」を接着剤として、社会という支え合う仕組みの中で生きていくのだと思います。

今学期の生活目標「挨拶をしよう」は、あと2週間ほどで切り替わりますが、小田小学校では、これからも子どもたちに挨拶の大切さを伝え続けていきたいと思っています。